

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 タカチホ
 コード番号 8225 URL <http://www.kk-takachiho.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 知幸
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 渡辺 三千也 TEL 026-221-6677
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

百万円未満切捨て

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

（1）連結経営成績（累計） （％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
25年3月期第3四半期	9,684	5.9	216	△1.0	185	1.7	124	365.7	
24年3月期第3四半期	9,141	—	219	—	182	—	26	—	
(注) 包括利益		25年3月期第3四半期		123百万円 (395.2%)		24年3月期第3四半期		24百万円 (—%)	

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	19.95	—
24年3月期第3四半期	4.28	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
25年3月期第3四半期	7,717	1,708	22.1	273.07	
24年3月期	7,420	1,586	21.4	253.55	
(参考) 自己資本		25年3月期第3四半期	1,708百万円	24年3月期	1,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	5.7	170	100.5	130	200.8	70	—	11.18

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
 新規 11社 （社名）株式会社ひだ銘販 、 除外 1社 （社名）－
 株式会社東京旬彩堂 他9社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	7,275,000株	24年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,016,811株	24年3月期	1,016,329株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	6,258,653株	24年3月期3Q	6,258,671株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要による穏やかな景気回復の兆しがみられたものの、欧州経済の不振や新興国の成長鈍化、長期化する円高懸念などの影響により先行き不透明な状況で推移しました。

当社を取り巻く市場環境も不安定な雇用情勢や所得環境の厳しさによる生活防衛意識が高まり、より低価格志向が強まるとともに、企業間では熾烈な販売競争が繰り広げられる等依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、当社グループでは「有望市場への積極的な販売網の拡充」の基本方針に基づき、当社グループの中心的事業であります、みやげ卸売事業と、みやげ小売事業におきまして積極的な販路拡大及び直営小売店の新規出店を実施してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、9,684百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は216百万円（前年同四半期比1.0%減）、経常利益は185百万円（前年同四半期比1.7%増）、四半期純利益は124百万円（前年同四半期比365.7%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、当社子会社により地域の特色を生かした商品開発と提案による販路の拡大策を図ってまいりました。中でも平成24年5月に開業いたしました東京スカイツリー及び関連市場への商品供給による積極的な販路と業容の拡大を進めてまいりました。その結果、売上高は5,748百万円（前年同四半期比9.4%増）となり、営業利益は販売競争の激化もあり248百万円（前年同四半期比2.9%減）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、当社みやげ小売ブランド店として新東名高速道路清水PA内に「富士旬粋店」を平成24年4月にオープンし、みやげ小売の販路拡大を図ってまいりました。その結果、売上高は1,589百万円（前年同四半期比26.3%増）となり、営業利益は56百万円（前年同四半期比147.8%増）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、上記のスカイツリー関連の新商品や「旬粋」ブランド関連商品の販売の他、各観光地の取引先の地域性を生かしたオリジナル商品の開発と提案による積極的な生産活動に努めてまいりました。その結果、売上高は501百万円（前年同四半期比22.9%増）となり、営業利益は42百万円（前年同四半期比205.9%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、各種イベントの企画・実施等や接客・サービスのレベルアップに努め、各施設のリピーター客の増加に努めましたが、消費者の生活防衛意識や節約志向の高まり及び同業者との誘客競争の激化から来店客数の減少がみられました。その結果、売上高は1,241百万円（前年同四半期比4.1%の減）となり、営業損失は61百万円（前年同期は29百万円の営業利益）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。これらの賃料収入は99百万円（前年同四半期比0.4%増）となり、営業利益は24百万円（前年同四半期比7.7%減）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、シーズンに合わせたユーザー参加型のイベントの企画・開催によりお客様ニーズの発掘と購買意欲を喚起してまいりました。その結果、売上高は608百万円（前年同四半期比2.3%減）となり、営業利益は48百万円（前年同四半期比22.0%増）となりました。

⑦その他

その他は、長野市内におけるギフト店等の運営が含まれ、催事・イベント等販売活動を積極的に推進してまいりました。その結果、売上高は776百万円（前年同四半期比2.7%減）となり、営業利益は25百万円（前年同四半期比31.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて297百万円(4.0%)増加して7,717百万円となりました。これは主として、現金及び預金が112百万円、投資その他の資産が114百万円それぞれ減少したものの、受取手形及び売掛金が183百万円、商品及び製品が300百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて175百万円(3.0%)増加して6,008百万円となりました。これは主として、賞与引当金が29百万円、流動負債その他に含まれる未払金が55百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が266百万円、未払法人税等が22百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、利益剰余金が123百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて122百万円(7.7%)増加して1,708百万円となりました。この結果、自己資本比率は22.1%となり、前会計年度末に比べて0.7ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向に基づき、平成24年5月14日に公表いたしました平成25年3月期の連結業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、連結範囲の変更に伴い株式会社赤城銘販、株式会社ひだ銘販、株式会社佐渡銘販、株式会社郡山銘販、株式会社蔵王銘販、株式会社富士銘販、庄和堂株式会社、株式会社奥羽銘販、株式会社札幌旬彩堂、株式会社青森銘販及び株式会社東京旬彩堂を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社、アウトドア用品事業の商品の評価方法は、従来、売価還元法によっておりましたが、新在庫管理システムが本稼働し、商品の受払に基づく在庫計算がシステム化されたことに伴い、より合理的な商品の評価及び適正な期間損益の計算が可能になったため、当第1四半期連結会計期間から総平均法に変更いたしました。

当該会計方針の変更は、システムの対応が不可能なため前連結会計年度の期末における商品の帳簿価額を当連結会計年度の期首残高として、期首から将来にわたり適用しております。なお、当該変更による商品、売上原価及び各段階損益並びに1株当たり情報への影響額は僅少であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	976,269	863,862
受取手形及び売掛金	894,782	1,078,554
商品及び製品	590,143	890,930
原材料及び貯蔵品	67,420	84,050
その他	103,751	115,672
貸倒引当金	△5,544	△7,060
流動資産合計	2,626,821	3,026,009
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,532,163	1,453,380
土地	1,007,443	1,007,443
その他（純額）	289,901	392,224
有形固定資産合計	2,829,508	2,853,048
無形固定資産	166,504	155,590
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,022,217	1,034,477
その他	826,065	671,867
貸倒引当金	△50,945	△23,543
投資その他の資産合計	1,797,337	1,682,801
固定資産合計	4,793,350	4,691,441
資産合計	7,420,172	7,717,450
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	468,821	735,557
短期借入金	2,423,454	2,555,820
未払法人税等	42,139	65,109
賞与引当金	55,307	26,203
返品調整引当金	6,353	4,134
ポイント引当金	10,154	12,421
その他	489,183	440,103
流動負債合計	3,495,413	3,839,349
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	1,555,125	1,389,232
役員退職慰労引当金	53,054	55,829
資産除去債務	314,572	319,716
その他	115,113	104,403
固定負債合計	2,337,865	2,169,181

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債合計	5,833,279	6,008,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	720,835
利益剰余金	71,310	194,440
自己株式	△199,767	△199,825
株主資本合計	1,592,377	1,715,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,484	△6,529
その他の包括利益累計額合計	△5,484	△6,529
純資産合計	1,586,893	1,708,920
負債純資産合計	7,420,172	7,717,450

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	9,141,553	9,684,205
売上原価	6,811,829	7,227,573
売上総利益	2,329,724	2,456,631
販売費及び一般管理費	2,110,619	2,239,643
営業利益	219,104	216,988
営業外収益		
受取利息	5,825	6,107
受取配当金	500	495
受取事務手数料	10,286	7,617
その他	14,032	14,784
営業外収益合計	30,644	29,004
営業外費用		
支払利息	64,970	58,333
その他	1,870	1,678
営業外費用合計	66,841	60,012
経常利益	182,908	185,980
特別利益		
受取補償金	—	35,086
特別利益合計	—	35,086
特別損失		
固定資産除却損	160	149
災害による損失	5,171	—
特別損失合計	5,332	149
税金等調整前四半期純利益	177,576	220,917
法人税、住民税及び事業税	57,297	78,801
法人税等調整額	93,476	17,288
法人税等合計	150,773	96,089
少数株主損益調整前四半期純利益	26,802	124,827
四半期純利益	26,802	124,827

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,802	124,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,808	△1,044
その他の包括利益合計	△1,808	△1,044
四半期包括利益	24,994	123,782
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,994	123,782
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギフト事業等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。